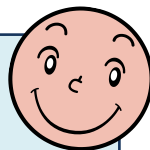


えみ 笑だより



2月号

発行：小規模多機能型居宅介護事業所「笑の里」（2019. 2. 1）

今年の冬は例年になく暖かい日が続いていましたが、寒波が到来し、インフルエンザも猛威を振るっています。暦の上では立春を迎えるというものの寒い日はまだまだ続きそうです。

立春といえば節分、節分といえば豆まきですが、なぜ豆まきなのでしょう。昔、京都に鬼が出てみんなを困らせていた時、神様からのお告げで、鬼の目に豆を投げ退治したという話があります。「鬼＝魔」（魔（ま）を滅（めっ）する）という言葉から、その年が無病息災で過ごせるようにと、豆を撒くようになったそうです。

笑の里でも、みんなが一年間健康で過ごせるようお願い、豆まきを行い鬼退治をします。寒い毎日ですが暖かいお部屋で楽しく過ごしましょう。

◆◆ 笑の里利用状況 ◆◆

「笑の里」では下記のとおりご利用いただいています。

利用登録 2月1日現在21人（定員29人）

男性 4人 女性 17人

サービス利用者 20人 毎日 6～15人/日

宿泊サービス利用者 8人 10～15日/月 4～5人/日

訪問サービス利用者 6人 毎日 4～5人/日

（ご利用者の状況により変動があります）



…アルバムのひとつ…



「新春のつどい」
手品や福笑いにみんな楽しく過ごしました。
そして、おやつは・・・
お抹茶と和菓子
新春の雰囲気たっぷりでした。



笑の里にも獅子舞がやってきました。
一年間健康に過ごせますように・・・と
一人ずつ頭を噛んでもらいました。

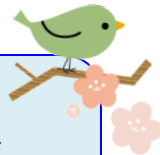


“お好み焼きパーティ！”
わいわいガヤガヤと楽しく
とっても美味しくできました。
おなかいっぱいになったね。



2月の予定

- ★節分(豆まき) ★お誕生会
- ★バレンタインデー
- ★ふれあいサロン (15日・28日)



★ 介護についてのご相談、お困りのことは
お気軽に「笑の里」までどうぞ・・・

☎ 38-0028 fax 47-7742

★ 緊急の場合は、080-6169-8080 までご連絡ください。